

令和3年度
事業報告書

自 令和3年4月 1日

至 令和4年3月31日



学校法人 花田学園
東京有明医療大学
日本鍼灸理療専門学校
日本柔道整復専門学校

目 次

I. 法人の概要	
1. 基本方針	1
2. 法人の沿革	1
3. 設置する学校等	2
4. 役員に関する事	2
5. 評議員に関する事	2
6. 教職員に関する事	2
II. 事業の概要	
1. 東京有明医療大学	3
2. 日本鍼灸理療専門学校、日本柔道整復専門学校	9
3. 法人本部	13
III. 入学試験に関する事	15
IV. 国家試験に関する事	16
V. 財務の概要	17
VI. その他	
1. 初年度学納金の推移	20
2. 表彰、奨学金・給付金等	21
3. 会議等実施報告	22

I. 法人の概要

1. 基本方針

教育基本法、学校教育法並びに文部科学省、厚生労働省の定める基準に準拠しつつ、創立者花田傳先生の崇高な建学の精神を継承し、医療の一翼を担うに足る人材の育成を教育目標とする。

昭和 31 年創立の日本鍼灸理療専門学校並びに日本柔道整復専門学校における、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師の養成と共に、平成 21 年度より東京有明医療大学における大学教育並びに平成 25 年度からの大学院教育・研究を通じ、鍼灸並びに柔道整復の教育・研究と、看護教育・研究との融合を推進する。東洋医学・伝統医学・西洋医学の分野において、高度化する医療の担い手として確かな知識と医療技術さらに人格識見に優れた、より幅の広い医療人の育成を通じ、社会に貢献することを基本方針とする。

2. 法人の沿革

昭和 31 年	4 月	日本中央鍼灸専門学校設立・東京高等柔道整復学校設立
昭和 38 年	9 月	学校法人花田学園法人認可
昭和 39 年	4 月	日本鍼灸理療学校・日本柔道整復学校に校名変更
昭和 47 年	10 月	専科（鍼灸科）新設
昭和 54 年	7 月	専修学校医療専門課程認可 日本鍼灸理療専門学校・日本柔道整復専門学校に校名変更
平成 2 年	4 月	法改正に伴い、修業年限 2 年から 3 年に変更
平成 15 年	8 月	専攻科（アスレティックトレーナー）新設 *日本鍼灸理療専門学校・日本柔道整復専門学校
平成 20 年	10 月	東京有明医療大学 保健医療学部鍼灸学科・柔道整復学科並びに看護学部看護学科認可
平成 21 年	4 月	東京有明医療大学 保健医療学部鍼灸学科・柔道整復学科並びに看護学部看護学科開学
平成 24 年	11 月	東京有明医療大学大学院 保健医療学研究科並びに看護学研究科認可
平成 25 年	4 月	東京有明医療大学大学院 保健医療学研究科並びに看護学研究科開設
平成 26 年	10 月	東京有明医療大学大学院 保健医療学研究科博士後期課程認可
平成 27 年	4 月	東京有明医療大学大学院 保健医療学研究科博士後期課程開設

3. 設置する学校等

大学等	学部・研究科等	学科	入学定員	収容定員	在籍者数(※)
東京有明医療大学	保健医療学部	鍼灸学科	60名	240名	187名
		柔道整復学科	60名	240名	220名
	看護学部	看護学科	50名	200名	241名
	保健医療学研究科(前期課程)	7名	12名	16名	
	保健医療学研究科(後期課程)	2名	6名		
		看護学研究科	3名	8名	2名
日本鍼灸理療専門学校	本科(鍼灸あん摩マッサージ指圧科)		120名	360名	417名
	専科(鍼灸科)		60名	180名	
日本柔道整復専門学校	柔道整復科		120名	360名	84名

※在籍人数は、令和3年5月1日現在の学校基本調査の数値で表記

4. 役員に関すること (令和4年4月1日現在)

理事(定数9名)	監事(定数2名)
9名 (常勤4名・非常勤5名)	2名 (非常勤2名)

5. 評議員に関すること (令和4年4月1日現在)

評議員(定数20名)
20名 (常勤12名・非常勤8名)

6. 教職員に関すること

本務教職員数 137名 兼務教職員数 168名 合計 305名

令和3年5月1日現在

区分		法人本部	東京有明医療大学	日本鍼灸理療専門学校	日本柔道整復専門学校	計
教員	本務	-	63名	19名	9名	91名
	兼務	-	76名	79名		155名
職員	本務	4名	33名	5名	4名	46名
	兼務	-	10名	3名		13名

平均年齢は、本務教員 (大学) 53歳 (専門2校) 50歳
 本務職員 (大学) 42歳 (専門2校) 43歳

※兼務とは、非常勤講師並びにアルバイト・パート雇用者をいう

II. 事業の概要

1. 東京有明医療大学

(1) 教育研究等の質の向上

①基礎学力の強化と検証

令和3年度の授業は、昨年度に続いて新型コロナウイルス感染症の影響により非常に困難な状況下での運営を迫られたが、感染対策に十分な配慮を行った上で、主に対面で授業を実施した。緊急事態の対応として取り入れたオンライン授業は、今年度においても予習や復習など基礎学力向上や新型コロナウイルス感染症の影響により授業に出席できない学生の学修機会確保の対応策として、補充教育、学生指導などで有効に活用できた。また、教授方法の工夫や学修成果の点検・評価については、授業評価アンケートや学生アンケート調査、アセスメント・テスト等を実施し、検証・改善を行った。

国家試験対策については、合格率の維持・向上のため、授業に加えて、補講や模擬試験、個別指導等により、新卒受験者の国家試験合格率は、はり師、きゅう師、柔道整復師、看護師において全国平均を上回る結果となった。（結果については、P16「IV. 国家試験に関すること」参照）

②学生ニーズの把握と分析

学修行動調査や授業評価アンケートにより、学生生活や学修に関する傾向をIR委員会やFD委員会で分析し、その結果を教職員に共有した。また、学生サポートセンターとカフェテリア内に設置している学生意見箱をはじめ、学生アドバイザー制度やオフィスアワー制度などを通じ、教員が直接聴取し、学生が日々感じている授業に関する意見や要望を把握した。

本調査で寄せられた学生の要望は、IR委員会より各委員会等に検討を依頼し、その検討状況についてアクティブポータルを通じて学生に回答を行った。

大学院生については、在学生オリエンテーション時において、研究科長同席の上意見交換の場を設けてニーズを把握し改善に努めた。

③退学率の改善

学生の授業欠席率と退学には相関関係があることから、退学に至る前段階で学生の状況を把握し、適切な支援を行うため「学修継続のための授業出席状況アラートフロー」を策定した。教員アドバイザーは学生の授業欠席状況を日常的に確認し、欠席が続く学生にはアラートフローに則り、早期に学生面談等を実施することにより、授業の無断欠席から退学に至るケースを未然に防止するよう努めている。

学生総合支援室には専任の公認心理師・臨床心理士が常駐し、学生相談・心理相談に対応しており、学生の自主的な利用だけでなく、教職員と連携することで積極的な情報共有を行い、要支援学生を早期に把握することで学業、対人関係、身体の不調等で悩む学生個々に応じたきめ細かなサポートを行い学修が継続できるよう支援している。

④他大学との連携

海外の大学間協定校を中心とした国際交流については、新型コロナウイルス感染症の影響により以下のとおりとなった。

[保健医療学部]

鍼灸学科のマサチューセッツ薬科健康科学大学（MC PHS）等との交流については従来隔年で実施していたが、9月中旬に予定していた訪問が中止となった。また、柔道整復学科のモンゴル国立医療科学大学との交流についても、実施予定であった教員派遣事業は中止となったが、オンデマンド方式での遠隔授業を実施した。また、同校伝統手技療法学科の卒業要件として本学での臨床実習、柔道、卒業共同研究等履修のための短期研修生の受入も中止となった。

[看護学部]

シンガポール国立大学看護学部との交流については、7月実施予定であった看護学部生の来校と、3月渡航予定の本学学生のシンガポール訪問が中止となった。

⑤教育成果の見える化

過年度のGPA分布状況や、国家試験・資格試験合格率等を公式ホームページの情報公開で教育成果を可視化し学内外に示している。また、個々の学生対応についてはアクティブポータルを活用し、教職員は単位修得状況、GPA、卒業要件の達成度や授業出席状況、学生対応の履歴を記録した「学生サポートメモ」を確認することができ、これらを活用して学年アドバイザーを中心に学生指導を行った。

また、保健医療学部の付帯教育である日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーは、令和3年度の検定試験に4名が合格し、平成24年度以降合計で53名となった。

⑥臨床の質の向上

附属の臨床施設（東京有明医療大学附属鍼灸センター）において、平成24年4月より臨床研修生を受け入れてきたが、令和4年度の11期生として新たに12名を受入れ、研修延長希望者10名と併せて22名が研修を行うこととなる。

⑦教育の質の向上

授業評価アンケートについて、全体の集計結果を学生及び教員にアクティブポータルで公表している。個々の授業科目の結果は、学生のコメントも含めて科目担当教員にフィードバックし、授業方法等の改善に役立てている。

FD委員会主催の研修会を「【教学マネジメントの確立】教学マネジメント指針の各大学事例集」をテーマにオンデマンド配信で実施し、今後本学に他大学の事例をどのように生かせるかなど意見を求めた。規模や学問分野は異なるが、教育マネジメントに積極的に取り組んでいる他大学を知ることで、今後の本学における教学マネジメント確立に向けた機会とした。

オンライン授業における授業教材配信の問題となる著作権に対応し、教育分野の著作権等の利用の円滑化を図るため、授業目的公衆送信補償金制度の管理団体である一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会（SARTRAS）に申

請し、制度適用を受けた。また、図書館において国内医療系電子書籍約 7,000 冊を閲覧できるサービスを導入し、学生・教員が自宅等の学外からでも電子書籍を利用できるよう整備した。

⑧研究の質の向上

公的研究費の管理体制及び研究倫理への取組みに対し、文部科学省のガイドラインを基に不正防止計画及び公的研究費執行ガイドブックを作成した。また、外部の研究支援専門機関を通じ、研究活動におけるコンプライアンス及び不正行為、利益相反等研究倫理全般にわたる本学仕様のオンライン研修会 DVD を作成、各研究者にオンデマンドにて配信するとともに、各教員の理解度を確認するために同機関の理解度テストを導入し、研究倫理教育一連の充実を図った。

⑨大学院生の将来設計

令和 3 年 4 月に入学した国際交流大学間協定校であるモンゴル国立医療科学大学卒業生 2 名の留学生は、コロナ感染症の影響で入国できずにいたが、本年 3 月下旬に入国することができた。留学生を研究室に受入れ、交流を図ることにより、本大学院の研究目的である国際性に富む人材の育成を、より実践できることとなった。また、ほとんどの大学院生は、T A (ティーチング・アシスタント) に登録して、教員を補佐し授業をサポートする役割を担っている。このことは大学院生の教育力や指導力を高め、将来に役立てることができるとともに、大学院生の「経済的な助け」にもなっている。

(2) 教育環境の整備

(キャンパス整備・危機管理)

①キャンパスの総合整備

定期点検結果を基に施設設備の現状を的確に把握し、必要な箇所については適宜修繕し、キャンパス環境の整備を行った。本校舎竣工後 13 年が経過し、今後の建設設備更新を視野に、建設会社の助言を受けながら長期的な設備保守管理計画案の作成に着手した。

その他、教育・研究、その他の施設に関する主な機器・備品類の購入内容は以下のとおり。

教育・研究関係		その他施設・設備関係	
印刷機 ORPHIS	400 万円	看護実習室改修工事	2,937 万円
きんちゅうくんⅡ(筋肉注射練習機)×5	72 万円	遠隔授業対応用 AV 機器増設工事一式	2,424 万円
アルゴメーター(疼痛感受性定量評価機器)	98 万円	大学構内監視カメラシステム	94 万円
ダブルブライト [®] 鍍用樹脂パーツ量産金型×2	117 万円	FortiGate-600E(ファイアウォール機器)	142 万円
		カフェテリア自動券売機×3	186 万円

②サーバの整備

認証基盤とファイルサーバの更新に向け、仕様の策定に着手した。

③コンピューター教室

コンピューター教室のプロジェクトの故障に備え、卓上型を増設した。なお、今後の入替については、補助金の活用を検討していく。

④安全衛生管理

コロナワクチン職域接種を実施（1回目7月10日・11日、2回目8月9日・10日）。大学及び渋谷専門学校の学生、教職員の他、近隣（江東区内）教育機関の教職員を対象として1,053名（1、2回合計で延べ2,098名）への接種を行った。

(3) 財政基盤の安定

①入学者の確保

令和3年度の入学者選抜は、進学情報誌の調査によると、保健関連分野の志願者は昨年度と同程度で、コロナ禍前の8割と言われる状況であった。

本学においては、保健医療学部の鍼灸学科、柔道整復学科とも定員割れとなったものの、昨年度並の志願者数、入学者数であった。看護学部では志願者数は若干減少したものの、従来通り定員を確保した。

保健医療学部では入学定員を満たす学生確保に向け、全学的に取り組むとともに、競合大学の広報戦略や入試実態の動向を踏まえ、入学者の質の向上を図り、更なる競争力を高めていく。

（過去5年の志願者・入学者の推移（平成30年度～令和4年度））（単位：人）

	定員	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
鍼灸学科	60	56	44	67	58	67	60	52	42	51	42
柔道整復学科	60	68	51	67	58	105	71	66	58	63	56
看護学科	50	252	60	251	60	291	60	236	61	211	64

（令和4年5月1日現在）

②外部資金の獲得

経常費補助金のうち施設整備補助については、遠隔授業活用推進事業で2年連続補助金申請を行い、採択に至った。

科研費については、応募者に対して公的研究支援室による添削サービスを実施しサポートを行った。

（単位：千円）

	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
一般補助	80,866	75,683	79,208	81,793	80,664
特別補助	1,906	5,158	4,729	3,681	2,262
計	82,772	80,841	83,937	85,474	82,926

外部資金獲得実績	文部科学省・日本学術振興会の科学研究費助成事業 ア. 研究代表者 (令和3年度交付額 1,216万円) <ul style="list-style-type: none"> ・鍼灸学科 3件 (内 2件継続) ・柔道整復学科 1件 (内 1件継続) ・看護学科 3件 (内 1件継続) イ. 研究分担者 (令和3年度交付額 251万円) <ul style="list-style-type: none"> ・柔道整復学科 3件 ・看護学科 5件
	厚生労働省の科学研究費助成事業 研究分担者 (令和3年度交付額 30万円) <ul style="list-style-type: none"> ・看護学科 1件
	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED) <ul style="list-style-type: none"> ・看護学科 1件 (令和3年度契約額 292万円)
特別研究費 の 公募(学内)	<ul style="list-style-type: none"> ・特別研究費 5件応募 5件採択 (250万円) ・教育改革推進費 1件応募 1件採択 (47万円)

③経費（水光熱費）の削減

一般管理費で大きな金額を占める光熱費（電気料金）については、デマンド監視装置による各電力量のコントロールが上手く行ったため、電力量に目立った超過は見られず、また、電気需給契約更新時に電力使用量の1.5%削減を実施できた。

(4) 業務運営・管理の改善

(業務運営の改善)

①内部統制の強化

公的研究費の管理基盤を構築し、学長を中心とした管理体制を整備し学内外に周知するとともに、コンプライアンス教育についても推進責任者のもとに実施した。

②戦略的な広報体制の確立

コロナ禍のもと、感染対策を講じながら対面型のオープンキャンパスを催するとともに、遠方の受験検討者のために、オンラインオープンキャンパスも同時に実施した。

- 1) 進学情報サイトの効果的な活用
- 2) オープンキャンパスへの積極的な取り組み
 - ・ホームページにオープンキャンパス特設ページを作成。
 - ・コロナ禍による県をまたぐ移動等の制限より、リモート(ZOOM)による個別面談の実施により、一都三県以外からのアプローチが増加した。
- 3) ホームページ(スマートフォン)対策の充実や SNS(Instagram 等)を活用した学生募集の取り組み
- 4) 学校推薦型選抜指定校推薦の指定校の見直し
 - ・保健医療学部の指定校では、指定校数を厳選したほか、入学者の多い高等学校を重点校として指定し、推薦可能人数増加等の見直しを行った。

5) 大学案内(パンフレット)の充実

【全学部対象(オープンキャンパス)】

	参加者計	鍼灸	柔整	看護
令和 3 年 3 月 21 日(日)	26 名(26)	10 名(10)	16 名(16)	—
令和 3 年 5 月 16 日(日)	192 名(192)	27 名(27)	44 名(44)	121 名(121)
令和 3 年 6 月 13 日(日)	223 名(41)	32 名(4)	38 名(8)	153 名(29)
令和 3 年 7 月 18 日(日)	200 名(55)	35 名(9)	61 名(4)	104 名(42)
令和 3 年 8 月 1 日(日)	64 名(64)	19 名(19)	45 名(45)	—
令和 3 年 8 月 15 日(日)	223 名(33)	62 名(33)	60 名(0)	101 名(0)
令和 3 年 9 月 19 日(日)	85 名(6)	21 名(6)	21 名(0)	43 名(0)
令和 3 年 10 月 17 日(日)	56 名(3)	9 名(3)	12 名(0)	35 名(0)
それ以外の来校者	111 名(15)	12 名(1)	29 名(6)	70 名(8)
合 計	1180 名(435)	227 名(112)	326 名(123)	627 名(200)

*() は、内数でオンラインでの参加数を示す

(自己点検・評価)

①外部評価機関の活用

令和 4 年度の大学機関別認証評価の受審申込を行った (令和 3 年 7 月)。

②自己点検・評価の実施

令和 2 年度の自己点検評価を新基準にて作成し、ホームページに公開した。

中長期計画 (P D C A サイクル表) の進捗状況を管理し、計画の遂行状況の把握に努めるとともに、内部監査室による実施状況のヒアリングを実施し大学評価委員会において報告を受けた。また、現中長期計画が期間 6 年の半分を経過したことから、大学評価委員会内に見直し分科会を組成し、計画の進捗状況の確認と項目の見直しを行い、2022 年～23 年度の計画の一部修正を行った。

(5) その他の報告

(校務報告)

令和 3 年	4 月	入学式
		新入生オリエンテーション
		新入生健康診断
		前学期授業開始
		大学院看護学研究科・特別研究計画発表会
	6 月	新型コロナ・P C R モニタリング検査
	7 月	ワクチン職域接種 (1 回目)
		前学期学力評価期間 (～8 月、※オリンピック期間を除外)
	8 月	ワクチン職域接種 (2 回目)
		基礎看護実習オリエンテーション (看護学科 2 年生)
	9 月	領域別看護実習オリエンテーション (看護学科 3 年生)
		後学期授業開始

令和3年	10月	大学院保健医療学研究科・学位論文中間発表会
	11月	看護師・保健師国家試験ガイダンス
		はり師きゅう師国家試験ガイダンス
令和4年	1月	後学期学力評価期間（～2月）
	2月	大学院保健医療学研究科・修士、博士論文発表会
		入学前授業（オンライン）（柔道整復学科）
		卒業発表
	3月	消防訓練（動画視聴）
		大学院看護学研究科・修士論文発表会
		卒業式・学位授与式
		入学前授業（オンライン）（鍼灸学科、看護学科）
		鍼灸センター研修生修了式
在校生オリエンテーション・健康診断		
鍼灸センター研修生入所式・オリエンテーション		

2. 日本鍼灸理療専門学校、日本柔道整復専門学校

(1) 教育研究等の質の向上

①教育・研究関連事項

当該年度における校舎ならびに設備の充実、図書の整備等、教育環境整備を以下のとおり実施した。また、昨年度に引続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、学会が未開催などより、本来の研究活動には至らず縮小傾向ではあったが、昨年度よりは実績向上が見られ、前年度比 32 万円増の 139 万円の研究費の執行となった。

学生用コピー機（2台）	91万円	AED（2台）	67万円
プロジェクター（1台）	56万円	今期図書購入額 ※内、寄贈図書分 1.2万円	50万円

②新型コロナウイルス感染症への対応

令和2年初旬に発生した新型コロナウイルス感染症が未だ終息の目途が立たない中、感染防止対策を徹底し、対面授業を基本として行ってきた。外部実習も、感染防止の徹底により、縮小傾向ではあるものの、概ね実施することができた。また、当初より徹底している日々の校舎内の消毒、検温、手指消毒等の対策により、クラスターが発生することなく令和3年度を修めることができた。

③国家試験の推移

国家試験については、例年通り、卒業学年単位での補講や既卒者国家試験担当による補講等の指導を実施した結果が反映し、昨年度合格率（既卒者含む）より鍼灸校は上回った。柔整校については、昨年度合格率より下回る結果となった。

近年、国家試験の出題レベルが難しい傾向にあることより、日々の学生生活の中での管理（出席日数や、学内定期試験結果等）が大きく反映されることより、担任のみならず科目担当教員のフォローも徹底し、更なる合格率のアップを目指したい。（結果については、P16「IV. 国家試験に関すること」参照）

④ 卒後教育の充実

日本鍼灸理療専門学校附属鍼灸院において、鍼灸外来での臨床技術の修得を目的とした臨床研修を実施、臨床実習生を受け入れている。令和3年度は4名を受入れ、令和4年度研修生は5名からの申込となり、前年度同様に増加している。また、令和3年度も新型コロナウイルス感染症の予防も含め、一般財団法人東洋医学研究所主催による日本鍼灸理療専門学校卒業生を対象とした「臨床技術研修講座」は中止となった。

⑤ アスレティックトレーナー専攻科(附帯教育)の充実

平成15年の専攻科開設以来19年が経過し、461名が修了し、令和3年度まで累計216名の合格者という結果となっている。

◆日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー検定試験年度別合格者数

平成26年度以前	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	合計
111名	15名	17名	17名	13名	17名	17名	9名	216名

(2) 教育環境の整備

令和3年度において、大きな環境整備の執行はないが、現校舎移転後20年以上が経過しているため、個々に修繕等の必要な箇所は対応してきた。また、次年度以降の計画でもある、照明器具のLED化や附属臨床実習施設の充実に向けた検討をした。

(3) 財政基盤の安定

① 入学者の推移

両専門学校ともに、受験者数の減少傾向が続いており、近年、全学科の第2部と柔道整復科第1部で定員割れの状態が続いている。令和3年度の入学生も本科第1部を除き、大幅な定員未達となった。

本年(令和4年度生募集)の志願者数は、鍼灸校227名、柔道整復校23名であった。専科、柔道整復科では志願者数が定員数を下回り、本科においても優秀な学生の確保の観点では、受験者数増加の対策を講じる必要がある。

過去5年の志願者・入学者の推移(平成30年度～令和4年度) (単位:人)

		定員	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
			本科	第1部	60	111	61	83	61	115	61	83
	第2部	60	78	52	54	30	73	44	62	40	85	59
専科	第1部	30	40	29	43	30	48	31	22	16	26	13
	第2部	30	16	12	31	24	27	16	17	14	15	6
柔道整復科	第1部	60	28	25	26	24	44	39	24	21	14	12
	第2部	60	5	4	6	4	10	6	3	2	9	8

②学費支援制度の充実

日本学生支援機構の奨学金ならびに厚生労働省の教育訓練給付金制度に加え、令和2年4月より、高等教育の修学支援新制度（授業料減免と給付型奨学金）が開始された。本校においての対象者ならびに実績は以下のとおり。

また、学内における成績優秀者に対する学内特待生制度も例年通りに実施した。各利用状況等についてはP22「VI. その他 2.表彰等」に記載。

【奨学金】

令和3年度日本学生支援機構の奨学金（第一種、第二種並びに給付奨学金）は59名の採用となった。

【専門実践訓練給付金】

一定の条件を満たす雇用保険の被保険者（在職者）、または被保険者であった方（離職者）が、厚生労働大臣の指定する専門実践教育訓練を受講する場合、支払った経費の一定割合額がハローワークから支給される制度（期間は最大3年間）で、本年度末時点の対象者は鍼灸校119名、柔整校は1名であった（柔整校第1部は、在籍者数の要件等より対象外）。

【高等教育の修学支援新制度】

令和2年4月より、文部科学省において、進路への意識や進学意欲がある者に対し、家庭の経済状況に関わらず、大学、短大、専門学校等へ進学するチャンスが確保できるよう実施され、対象者は22名、授業料減免額9,583,300円であった。

【学内特待制度】

学内選考委員会にて決定され、令和4年3月に3年生、令和4年4月に1、2年生の成績優秀者の発表があり、授業料の一部免除を行い、第1部並びに第2部の総額は5,750,000円となった。

③学校説明会並びに校外ガイダンス等広報活動

費用対効果を考慮し、効率的な広報活動を行ない、大学と連携も図り広報を充実させる。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、前年度と同様に学校説明会は縮小して実施した。校外ガイダンスはリモートだけでなく対面での実施も増えたため、積極的に参加した。

- ・進学情報サイトへの掲載
- ・学校説明会ならび個別相談会（来校・リモート・電話）等
- ・学校案内ならびにホームページのマイナーチェンジ
- ・SNSを利用した、学校近況報告

●会場ガイダンス等

高校ガイダンス … 49校、資料頒布会 … 147校
会場ガイダンス … 5会場

●学校説明会 参加者数

	参加者計	鍼灸	柔整	両校
令和 3 年 5 月 23 日(日)	31 名	23 名	5 名	3 名
令和 3 年 6 月 20 日(日)	47 名	42 名	5 名	0 名
令和 3 年 7 月 11 日(日)	39 名	33 名	2 名	4 名
令和 3 年 8 月 21 日(土)	41 名	33 名	6 名	2 名
合 計	158 名	131 名	18 名	9 名

●学校見学・入試相談会等 参加者数

月曜から土曜日の午前 10 時から午後 4 時の間、参加者の希望する時間で実施し、計 192 名の参加者があった(前年 219 名、前々年 219 名)。また、今年度も新型コロナウイルス感染症対策として、来校型の他にリモートや電話対応での個別相談も実施、施設見学については動画をホームページに掲載し対応した。

来校での参加者 162 名 リモートでの参加 28 名
電話対応 2 名

(4) 業務運営・管理の改善

①自己点検ならびに学校関係者評価

学校法人花田学園専門学校 学校評価実施規程に基づき、各校において、令和2年度の自己評価を行い、自己評価報告書をホームページへ掲載した。その結果をもとに、学校関係者評価委員による評価が実施され、令和 4 年 2 月に評価委員長より報告を受け、3 月の理事会にて報告した。

また、昨年度に引続き、私立専修学校教育環境整備費助成事業（専修学校評価促進）として東京都に交付申請を行い、各校 20 万円ずつの補助金が交付予定である。

(5) その他の報告

(校務報告)

新型コロナウイルス感染症の影響により中止した行事もあった中、授業や試験等は予定どおり実施することができた。

令和 3 年	4 月	学生健康診断
		入学式
		前期授業開始
		A T 専攻科開講式
	6 月	3 年生実力試験（鍼灸校・柔整校）
	7 月	定期試験①
	9 月	あま指認定実技審査
		柔整卒業実技試験
		鍼灸認定実技審査
	10 月	後期授業開始
11 月	柔整認定実技審査	

令和3年度	11月	A T理論試験
		東洋療法学校協会統一模試
		全国柔道整復学校協会模擬試験 定期試験②(3年生)
	12月	特別試験(鍼灸校3年生) 特別試験(柔整校3年生)
令和4年	1月	実力試験② 解剖見学(3年生)
		2月
	3月	令和3年度卒業式 ※謝恩会中止 A T専攻科修了式 国家試験合格発表

3. 法人本部

(1) 業務運営・管理の改善

(組織規程を中心とした諸規程の策定・改定)

①東京有明医療大学アドミッションセンター規則の一部改正

令和3年6月1日を施行日に、従来学長が委員長として運営していたものを、構成員の人数を縮小し、委員長をセンター長に変更することで機動的な審議が行われるよう、委員会の組織変更の改正を行った。

②学校法人花田学園非常勤職員就業規則の一部改正

平成24年8月10日公布された『労働契約法の一部を改正する法律』より、期間の定めのある有期労働者についての無期転換ルールの対応を行った。

③東京有明医療大学職員退職金規程 別表の改正

令和4年4月1日改正の、私立大学退職金財団の交付率変更にとまない、本規程の退職金指数の改正を行った。

④東京有明医療大学大学院学則の一部改正

学校教育法施行規則の一部を改正する省令が交付され、博士前期課程及び博士後期課程の入学資格を改正内容に反映させるため学則変更の改正を行った。

⑤学校法人花田学園 育児・介護休業規程の一部改正

令和4年4月1日より3段階で法改正が行われる本規程において、第一段階として4月1日施行部分である「雇用環境整備・個別の周知・意向確認の措置の義務化」、「有期雇用労働者の育児・介護休業取得要件の緩和」を改正した。

(監事・独立監査人・内部監査部門の連携)

昨年に引き続き、監事による監査及び独立監査人の監査、内部監査機能の更なる強化を目的に、内部監査室による三様監査を行った。

◆内部監査室

内部統制を図るうえで、定期監査(会計監査8回(渋谷、有明各4回)、公的

研究費監査1回)を実施するとともに、相互補完的に位置付けられている監事・会計監査・内部監査室による三様監査を効果的に進め、定期的に意思疎通を図り、必要な情報を相互に交換し、理事長へ監査の報告を行った。また、東京有明医療大学中長期計画のPDCAサイクル実施状況(2020年度分)について業務実施状況のヒアリングを実施した。

(働き方改革への対応)

令和3年9月、東京有明医療大学ならびに専門学校2校の教職員が参加するオンライン形式で、SD企画「セルフケア研修会」を開催した。題目は、「日頃のストレスを知る・気づく」、「普段使用している対処法以外の対処法を身につける」、「ストレスに備える」の3つのテーマで実施した。

(2) 財政基盤の安定

①経営及び維持管理体制の強化

昨年に引き続き、本学の資源である学生生徒納付金の確保を図ることを重点に、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、広報活動等に尽力してきた。結果、東京有明医療大学では昨年度同等の学生数は確保できたが、保健医療学部の2学科は定員未達であり、日本鍼灸理療専門学校では専科の昼夜間、日本柔道整復専門学校は昼夜間で定員未達となっており、収支バランス等に特段の配慮が必要である。

②中期計画進捗状況等の確認

昨年度、作成した「中期経営計画の骨子」より、大学及び専門学校の中期計画の進捗状況等を確認し、更に第2期計画に向けて検討を進めていく。また、中期計画に伴う財務計画(資金収支並びに事業活動収支)を作成した。

(主な施設等の状況)

区分	土地		建物		備考
江東区有明	大学校地	9,000.00 m ²	有明校舎	15,482.33 m ²	
渋谷区桜丘	専門学校校地	509.04 m ²	渋谷校舎	3,295.16 m ²	
渋谷区桜丘	メディカルビル	187.24 m ²	メディカルビル	805.50 m ²	

Ⅲ. 入学試験に関すること ※令和4年度入学生（令和3年度入試実施）（令和4年5月1日現在）

（東京有明医療大学）

【保健医療学部】入学定員 鍼灸学科 60名 柔道整復学科 60名

【看護学部】入学定員 看護学科 50名（定員倍率＝志願者数/定員）

		志願者数	合格者数	定員倍率	入学者数	学歴別		平均年齢(歳)	過去の志願者数(年度)		
						現役	既卒		令和元年	令和2年	令和3年
保健医療学部	鍼灸学科	51	42	0.87	42	38	4	18.76	67	67	52
	柔道整復学科	63	61	1.05	56	56	0	18.11	67	105	66
	合計	114	103	0.95	98	94	4	18.39	134	172	118
看護学部	看護学科	211	96	4.22	64	62	2	18.17	251	291	236
	合計	211	96	4.22	64	62	2	18.17	251	291	236
総数		325	199	1.91	163	157	6	18.30	385	463	354

【大学院 保健医療学研究科】入学定員 博士前期課程 7名(令和2年度生以前5名)

博士後期課程 2名

【大学院 看護学研究科】入学定員 修士課程 3名(令和2年度生以前5名)

		志願者数	合格者数	定員倍率	入学者数	職歴		平均年齢(歳)	過去の志願者数(年度)		
						有	無		令和元年	令和2年	令和3年
保健医療学研究科	博士前期課程	7	6	1.00	6	1	5	24.17	6	4	7
	博士後期課程	2	2	1.00	2	1	1	32.00	1	2	4
看護学研究科	修士課程	1	1	0.50	1	1	0	44.00	0	2	0
総数		10	9	0.83	9	3	6	26.18	7	8	11

（日本鍼灸理療専門学校・日本柔道整復専門学校）

【日本鍼灸理療専門学校】入学定員 本科各部 60名 専科各部 30名

【日本柔道整復専門学校】入学定員 柔道整復科各部 60名

		志願者数	合格者数	定員倍率	入学者数	学歴別		平均年齢(歳)	過去の志願者数(年度)		
						大卒	高卒		令和元年	令和2年	令和3年
本科	第1部	101	64	1.68	63	31	20	24.4	83	115	83
	第2部	85	61	1.41	59	34	13	31.3	54	73	62
	計	186	125	1.55	122	65	33	27.7	137	188	145
専科	第1部	26	14	0.9	13	6	3	32.3	43	48	22
	第2部	15	6	0.5	6	2	1	35.8	31	27	17
	計	41	20	0.68	19	8	4	33.4	74	75	39
鍼灸合計		227	145	1.26	141	73	37	28.5	211	263	184
柔整科	第1部	14	12	0.23	12	0	11	20.0	26	44	24
	第2部	9	8	0.15	8	4	2	29.6	6	10	3
柔整合計		23	20	0.19	20	4	13	23.8	32	54	27
2校合計		250	165	0.83	161	77	50	27.9	243	317	211

IV. 国家試験に関すること

令和3年度実施の国家試験の合格状況は以下のとおり（国家試験新卒合格率の過去3年間推移）
（試験日）

- 保健師 …令和4年2月11日（金） ●看護師 …令和4年2月13日（日）
- はり師・きゅう師 …令和4年2月26日（土）
- あん摩指圧マッサージ師 …令和4年2月27日（日）
- 柔道整復師 …令和4年3月6日（日）

（東京有明医療大学）

	学科名	国家試験	新卒合格率	全国平均 新卒合格率
令和元年度	鍼灸学科	はり師	95.0%	89.3%
		きゅう師	95.0%	88.9%
	柔道整復学科	柔道整復師	72.4%	84.8%
	看護学科	看護師	100.0%	94.7%
保健師		87.5%	96.3%	
令和2年度	鍼灸学科	はり師	79.3%	87.8%
		きゅう師	79.3%	89.1%
	柔道整復学科	柔道整復師	84.4%	85.6%
	看護学科	看護師	98.3%	95.4%
保健師		100.0%	97.4%	
令和3年度	鍼灸学科	はり師	100%	90.2%
		きゅう師	100%	91.3%
	柔道整復学科	柔道整復師	87.1%	81.0%
	看護学科	看護師	98.2%	96.5%
保健師		92.9%	93.0%	

（日本鍼灸理療専門学校・日本柔道整復専門学校）

	学科名	国家試験	新卒合格率	全国平均 新卒合格率
令和元年度	本 科	はり師	92.5%	89.3%
		きゅう師	90.0%	88.9%
		あん摩マッサージ指圧師	97.5%	93.9%
	専 科	はり師	94.3%	89.3%
		きゅう師	94.3%	88.9%
柔道整復科	柔道整復師	90.9%	84.8%	
令和2年度	本 科	はり師	85.8%	87.8%
		きゅう師	85.8%	89.1%
		あん摩マッサージ指圧師	96.2%	94.0%
	専 科	はり師	67.6%	87.8%
		きゅう師	70.3%	89.1%
柔道整復科	柔道整復師	91.3%	85.6%	
令和3年度	本 科	はり師	93.1%	90.3%
		きゅう師	93.1%	91.4%
		あん摩マッサージ指圧師	98.9%	94.7%
	専 科	はり師	87.5%	90.3%
		きゅう師	89.5%	91.4%
柔道整復科	柔道整復師	63.2%	81.0%	

V. 財務の概要

(決算の概要)

・貸借対照表の状況

資産の部合計約 146 億 8,700 万円と昨年度より約 6,200 万円増加、負債の部合計約 6 億 3,300 万円と昨年度より約 6,000 万円増加、基本金組入を行った後の繰越収支差額は約△ 8 億 4,600 万円の結果となった。

主な要因として、資産の増加は現金預金や特定資産の増加に対し、積立保険の解約(退職者の解約)による積立保険の減少や減価償却による減少によるもので、負債の増加は、退職給与引当金や入学金等前受金の増加が主な要因であった。

・収支計算書の状況

未だ終息の見通しが立たぬ新型コロナウイルス感染症の影響により、外部実習等縮小傾向であるものの、学事の一部を除きほぼ予定通りの活動を終えることができた。

資金収支では、単年度収支で 1 億 8,800 万円の収入超過となった。当該年度では、補助金収入(有明大における遠隔授業助成金)の増額に加え次年度入学予定者からの前受金が増加、また、資産運用取引を行わなかったことにより、収入支出ともに昨年度から減少し、人件費・教育研究経費並びに管理経費についてはほぼ横ばいの数値となった。

事業活動収支では、教育活動収支約△2,900 万円と、教育活動外収支約 2,300 万円より經常収支差額は△600 万円となり、特別収支差額の約 800 万円を加え、基本金組入前当年度収支差額は約 200 万円のプラスという結果となり、予算より 2,500 万円の改善となった。さらに基本金組入額約△5,800 万円を加えた当年度収支差額は約△5,600 万円、前年度繰越収支差額に加算し、翌年度繰越収支差額は約△8 億 4,600 万円の結果となった。

・経年比較(直近 3 年間)

1) 貸借対照表

(単位:千円)

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
固定資産	12,033,640	11,805,682	11,653,604
流動資産	2,697,226	2,819,940	3,033,934
資産の部合計	14,730,866	14,625,622	14,687,538
固定負債	110,298	121,036	120,277
流動負債	601,093	451,908	512,636
負債の部合計	711,391	572,945	632,913
基本金の部合計	14,802,482	14,842,808	14,900,571
繰越収支差額	△783,006	△790,131	△845,946
純資産の部合計	14,019,475	14,052,677	14,054,625
負債及び純資産の部合計	14,730,866	14,625,622	14,687,538

2) 資金収支計算書

(単位:千円)

収入の部	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
学生生徒納付金収入	1,906,120	1,980,367	1,949,091
手数料収入	29,473	22,050	22,175
寄付金収入	3,260	1,940	1,920
補助金収入	84,052	132,044	140,766

資産売却収入	434,673	299,525	0
付随事業・収益事業収入	62,806	51,566	66,296
受取利息・配当金収入	30,492	26,345	23,443
雑収入	99,837	26,142	53,143
前受金収入	484,416	388,312	419,798
その他の収入	34,757	87,802	42,513
資金収入調整勘定	△497,599	△510,196	△433,319
前年度繰越支払資金	2,355,376	2,608,402	2,780,505
収入の部合計	5,027,665	5,109,799	5,066,330
支出の部	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人件費支出	1,597,903	1,521,764	1,539,974
教育研究経費支出	315,377	313,120	349,510
管理経費支出	133,147	116,002	111,584
施設関係支出	26,116	6,212	39,765
設備関係支出	15,737	44,574	41,504
資産運用支出	360,602	274,392	34,148
その他の支出	77,008	112,827	67,785
資金支出調整勘定	△106,698	△59,596	△86,769
次年度繰越支払資金	2,608,402	2,780,505	2,968,793
支出の部合計	5,027,665	5,109,799	5,066,330

3) 事業活動収支計算書

(単位:千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
教育活動収入	2,199,181	2,208,835	2,230,423
教育活動支出	2,339,503	2,221,363	2,259,776
教育活動収支差額	△140,322	△12,528	△29,353
教育活動外収入	30,492	29,241	23,443
教育活動外支出	0	300	0
教育活動外収支差額	30,492	28,941	23,443
経常収支差額	△109,830	16,413	△5,910
特別収入	43,778	18,433	10,036
特別支出	228,580	1,644	2,179
特別収支差額	△184,802	16,789	7,857
予備費	0	0	0
基本金組入前当年度収支差額	△294,632	33,202	1,947
基本金組入額合計	△38,068	△41,427	△57,763
当年度収支差額	△332,700	△8,224	△55,815
前年度繰越収支差額	△450,306	△783,006	△790,131
翌年度繰越収支差額	△783,006	△790,131	△845,946

4) 主な財務比率比較

	算式	令和元年度	令和2年度	令和3年度
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	85.5%	88.5%	86.5%
補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	3.7%	5.9%	6.2%
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	73.3%	68.8%	68.6%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	24.8%	24.5%	25.9%
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	6.8%	5.9%	5.8%
基本金組入比率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	1.7%	1.8%	2.6%
純資産構成比率	$\frac{\text{純資産(※)}}{\text{総負債+純資産}}$	95.2%	96.1%	95.7%

固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	81.7%	80.7%	79.3%
流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	18.3%	19.3%	20.7%
前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	538.5%	724.4%	707.2%
固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債+純資産}}$	0.7%	0.8%	0.8%
流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債+純資産}}$	4.1%	3.1%	3.5%

※純資産＝基本金＋繰越収支差額

(金融資産の運用・管理)

- ① 花田学園資産運用規程に従い、運用財産合計に対する運用有価証券の残高を定期的に管理し、令和3年3月末の運用財産合計38億130万円に対し運用有価証券合計は8億3,250万円で、運用規程の運用割合45%以下に対し22%であり規程の範囲内である。
- ② 令和4年3月末の運用有価証券全体の時価評価において、評価損益は含み益となり、個別銘柄において決算書注記への記載、簿価の強制低価処理等の対応に該当するものはなかった。
- ③ 令和3年度の受取利息収入合計は約2,344万円となった。
- ④ 引き続き運用規程を遵守して運用資産残高管理を行い、低リスク資産（定期預金等）を一定額確保した上で、金融経済市場の情勢に注視しながら、リスクとリターンのバランスに留意し、運用商品の特性に応じたポートフォリオの見直しを行い、資産の成長を図る。

— 保有運用有価証券内訳 —

種 類	貸借対照表計上額	構成比
債 券(仕組債)	298,551,256 円	35.86%
株 式	255,011,070 円	30.63%
投資信託	278,942,448 円	33.51%
合 計	832,504,774 円	100.0%

(関連当事者との取引)

本件に関しては、理事、監事及び評議員に対し調査を行い、今年度に関しても関連当事者取引がないことを確認した。

VI. その他

1. 初年度学納金の推移 ※過去3年間の推移

(東京有明医療大学)

(単位：円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	備 考
授業料	鍼灸学科	1,200,000	1,200,000	1,200,000	
	柔道整復学科	1,200,000	1,200,000	1,200,000	
	看護学科	1,100,000	1,100,000	1,100,000	
実習費	鍼灸学科	325,000	325,000	325,000	
	柔道整復学科	325,000	325,000	325,000	
	看護学科	300,000	300,000	300,000	
施設設備費	鍼灸学科	350,000	350,000	350,000	
	柔道整復学科	350,000	350,000	350,000	
	看護学科	350,000	350,000	350,000	
入学金	鍼灸学科	300,000	300,000	300,000	
	柔道整復学科	300,000	300,000	300,000	
	看護学科	300,000	300,000	300,000	
合 計	鍼灸学科	2,175,000	2,175,000	2,175,000	
	柔道整復学科	2,175,000	2,175,000	2,175,000	
	看護学科	2,050,000	2,050,000	2,050,000	
入学検定料		35,000	35,000	35,000	

(日本鍼灸理療専門学校・日本柔道整復専門学校)

(単位：円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	備 考	
授業料	本 科	1,100,000	1,100,000	1,100,000		
	専 科	900,000	900,000	900,000		
	柔道整復科	1,040,000	1,040,000	1,040,000		
施設費	本 科	130,000	130,000	130,000		
	専 科	130,000	130,000	130,000		
	柔道整復科	130,000	130,000	130,000		
入学金	本 科	第1部	700,000	700,000	700,000	
		第2部				
	専 科	第1部	600,000	600,000	600,000	
		第2部	400,000	400,000	400,000	
	柔道整復科	第1部	600,000	600,000	600,000	
		第2部	400,000	400,000	400,000	
合 計	本 科	第1部	1,930,000	1,930,000	1,930,000	
		第2部				
	専 科	第1部	1,630,000	1,630,000	1,630,000	
		第2部	1,430,000	1,430,000	1,430,000	
	柔道整復科	第1部	1,770,000	1,770,000	1,770,000	
		第2部	1,570,000	1,570,000	1,570,000	
入学検定料		30,000	30,000	30,000		

2. 表彰、奨学金・給付金等
(東京有明医療大学)

●成績優秀者及び経済的困難者への授業料減免制度

1 成績優秀者	学部・学科毎に学業成績最優秀者を決定し、3 学年までの各学科 1 名の計 9 名に対し授業料を減免	減免額 40 万円
	学部・学科毎に学業成績優秀者(2 位、3 位)を決定し、3 学年までの各学科 2 名の計 16 名に対し授業料を減免	減免額 2 位者 15 万円 3 位者 5 万円
2 一般入試成績優秀者	各学科入学生のうち 1 名ずつの計 3 名に対し授業料を減免	減免額 40 万円
3 経済的困難に対する授業料減免	9 名	減免額各 25 万円 合計 225 万円
4 経済的困難(家計急変)に対する授業料減免	1 名	減免額 40 万円

※他、優等賞・優秀賞・同窓会賞・特別賞・皆勤賞ならびに業界からの各表彰あり

●日本学生支援機構の令和 3 年度採用の奨学金

	種 別	在学採用	臨時採用	予約採用	計
学部生	一種・二種	30 名	1 名	34 名	65 名
	給付	6 名	0 名	23 名	29 名
大学院生	一種・二種	6 名	0 名	0 名	6 名

●高等教育の修学支援新制度(うち授業料減免分)

学部	学科	対象数	減免額
保健医療学部	鍼灸学科	15 名	10,077,100 円
	柔道整復学科	22 名	12,414,000 円
看護学部	看護学科	23 名	15,867,400 円
合 計		60 名	38,358,500 円

●「学びの継続」のための学生支援緊急給付金(コロナ関連)

学部	学科	対象数	減免額
保健医療学部	鍼灸学科	18 名	1,800,000 円
	柔道整復学科	14 名	1,400,000 円
看護学部	看護学科	14 名	1,400,000 円
保健医療学研究科		9 名	900,000 円
合 計		55 名	5,500,000 円

(日本鍼灸理療専門学校・日本柔道整復専門学校)

●学内特待制度(成績優秀者への授業料減免制度)

成績優秀者	学科・部毎に成績最優秀者を決定 日本鍼灸理療専門学校 23 名 4,550,000 円 日本柔道整復専門学校 04 名 1,200,000 円	授業料の減免額 (本科・柔道整復科) 1 位 30 万・2 位 15 万・3 位 10 万 (専科) 1 位 25 万・2 位 15 万 ※各学年における定員カバー率によっ て異なる
-------	---	---

上記の他、卒業式や学年終業時に優等賞・優秀賞・同窓会賞・特別賞・皆勤賞ならびに業界からの各表彰あり

●日本学生支援機構の令和3年度採用の奨学金

	種別	定期採用	臨時採用	予約採用	計
日本鍼灸理療専門学校	一種・二種	31名	1名	12名	44名
	給付	1名	0名	2名	3名
日本柔道整復専門学校	一種・二種	2名	0名	8名	10名
	給付	1名	0名	1名	2名

●高等教育の修学支援新制度（うち授業料減免分）

	対象者数	減免額
日本鍼灸理療専門学校	13名	5,188,600円
日本柔道整復専門学校	9名	4,394,700円
合計	22名	9,583,300円

3. 会議等実施報告

(法人本部)

●理事会

	開催日	主な議題等	備考
第1回	令和3年 5/20 (木)	<ol style="list-style-type: none"> 令和2年度事業報告書(案)の承認について 令和2年度収支決算報告書(案)の承認について -報告事項- <ul style="list-style-type: none"> 中期計画の実施状況について 東京有明医療大学アドミッションセンター規則の一部改正について 私立大学退職金財団の退職資金交付率及び掛金率の改正について 	
第2回	11/20 (土)	<ol style="list-style-type: none"> 学校法人花田学園 第1期中期計画(案)について 学校法人花田学園 非常勤職員就業規則の一部改正(案)について 東京有明医療大学 職員退職金規程の別表改正(案)について 令和3年度 私立学校情報機器整備費(遠隔授業活用推進事業)補助金に伴う重要契約について 東京有明医療大学 客員教授の名称付与について 一般財団法人 東洋医学研究所との関連取引について -報告事項- <ul style="list-style-type: none"> 理事会及び評議員会の運営及び議事録の取扱い並びに学校法人寄附行為作成例の改正について(文科省通知) 令和3年度 会計中間報告について 東京有明医療大学における公的研究費の管理並びに研究活動の不正行為への対応等に関する取扱要項の一部改正について 	
第3回	令和4年 3/24 (木)	<ol style="list-style-type: none"> 人事について 職員からの評議員推薦について 卒業生からの評議員選任について 	
第4回	3/24 (木)	<ol style="list-style-type: none"> 令和3年度補正予算(案)について 令和4年度事業計画書(案)について 令和4年度収支予算書(案)について 東京有明医療大学中期計画の一部変更(案)について 東京有明医療大学大学院学則の一部改正について 学校法人花田学園育児・介護休業規程の一部改正について 令和4年度1契約1千万を超える契約について -報告事項- <ul style="list-style-type: none"> 東京有明医療大学履修規則の一部改正について 東京有明医療大学授業に関する規則の一部改正について 学校法人花田学園監事監査基準の制定について 令和3年度監事監査重点項目実施報告並びに令和4年度監事監査重点項目について 令和4年度東京有明医療大学における公的研究費不正防止計画について 令和2年度専門学校 学校関係者評価報告について 学校法人ガバナンス改革に関する検討の動向について 資産運用状況報告について 他 	

●評議員会

	開催日	主な議題等	備考
第1回	令和3年 5/20 (木)	<ol style="list-style-type: none"> 令和2年度事業報告書(案)の承認について 令和2年度収支決算報告書(案)の承認について -報告事項- <ul style="list-style-type: none"> 中期計画の実施状況について 東京有明医療大学アドミッションセンター規則の一部改正について 私立大学退職金財団の退職金交付率及び掛金率の改正について 	
第2回	11/20 (土)	<ol style="list-style-type: none"> 学校法人花田学園 第1期中期計画(案)について 学校法人花田学園 非常勤職員就業規則の一部改正(案)について 東京有明医療大学 職員退職金規程の別表改正(案)について 令和3年度 私立学校情報機器整備費(遠隔授業活用推進事業)補助金に伴う重要契約について 東京有明医療大学 客員教授の名称付与について 一般財団法人 東洋医学研究所との関連取引について -報告事項- <ul style="list-style-type: none"> 理事会及び評議員会の運営及び議事録の取扱い並びに学校法人寄附行為作成例の改正について(文科省通知) 令和3年度 会計中間報告について 東京有明医療大学における公的研究費の管理並びに研究活動の不正行為への対応等に関する取扱要項の一部改正について 	
第3回	令和4年 3/24 (木)	<ol style="list-style-type: none"> 人事について 職員からの評議員選任(理事会推薦)について -報告事項- <ul style="list-style-type: none"> 卒業生からの評議員選任(理事会選任)について <ol style="list-style-type: none"> 令和3年度補正予算(案)について 令和4年度事業計画書(案)について 令和4年度収支予算書(案)について 東京有明医療大学中期計画の一部変更(案)について 東京有明医療大学大学院学則の一部改正について 学校法人花田学園育児・介護休業規程の一部改正について 令和4年度1契約1千万を超える契約について -報告事項- <ul style="list-style-type: none"> 東京有明医療大学履修規則の一部改正について 東京有明医療大学授業に関する規則の一部改正について 学校法人花田学園監事監査基準の制定について 令和3年度監事監査重点項目実施報告並びに令和4年度監事監査重点項目について 令和4年度東京有明医療大学における公的研究費不正防止計画について 令和2年度専門学校 学校関係者評価報告について 学校法人ガバナンス改革に関する検討の動向について 資産運用状況報告について 他 	-

(東京有明医療大学)

名称	開催頻度	審議内容等	R3年度開催数
大学協議会	毎月1回	学則その他学内諸規則の制定・改廃、教育・研究、教員人事の基準、学生の身分・厚生指導及びその他大学の運営に関する事項	11回
教授会 (保健・看護)	毎月1回	学生の入学、卒業又は課程の修了、学位の授与、その他学長が教授会に意見を聞くことが必要であると学長が別に定めた事項及びその他当該学部の運営に関する重要事項	保14 看15
研究科委員会 (保健・看護)	毎月1回	学生の入学、卒業又は課程の修了、学位の授与、その他学長が委員会に意見を聞くことが必要であると学長が別に定めた事項及びその他当該研究科の運営に関する重要事項	保12 看13
教務委員会	毎月1回	教育課程の編成、学生の単位取得、授業時間割の編成、学生の履修指導、定期・追・再試験、研究生、科目履修生等の教務に関する事項及びその他教務に関する事項	10
学生委員会	毎月1回	学生指導の基本方針、学生活動、学生生活、学生の表彰・懲戒及びその他学生に関する事項	9
紀要委員会	必要の都度	編集方針、原稿の採否、掲載の順位、部数及びその他紀要に関する事項	4
大学評価委員会	必要の都度	教育研究等の状況に係る自己点検・評価、教育内容等の改善のための組織的な研修、教育研究等の状況に係る公表及びその他評価等に関する事項	7

名 称	開催頻度	審 議 内 容 等	R3 年度 開催数
就職委員会	必要の都度	キャリア及び就職の支援並びに対策の基本方針・実施内容・情報収集及びその他委員長が必要と認めた事項	3
第一種奨学金返還免除候補者選考委員会	必要の都度	大学院第一種奨学金返還免除候補者の選考	1
図書運営委員会	必要の都度	図書館の運営の方針・企画、事業計画、調査及びその他図書館の運営に関する事項	4
保健管理センター運営委員会	必要の都度	センターの運営の方針・企画、事業計画、健康管理等の調査及びその他センターの運営に関する事項	2
情報センター運営委員会	必要の都度	センターの運営の方針・企画、事業計画、情報管理等の調査及びその他センターの運営に関する事項	1
国際交流センター運営委員会	必要の都度	センターの運営の方針・企画、事業計画、国際交流の調査及び委員長が必要と認めた事項	-
アドミッションセンター運営委員会	毎月1回	入学者選抜の基本方針、学生募集、選抜の実施、選抜結果の分析、選抜の調査研究、学生確保に係る広報活動、その他センターの運営に関する事項	4
倫理審査委員会	年3回	「ヒトを対象とした研究」の研究の実施及び継続の適否の審査並びにその他委員会で必要と認めた事項	2
利益相反管理委員会	必要の都度	利益相反管理基準の制定及び改廃、利益相反による弊害の除去のため施策の策定、利益相反に関する審査・回避要請等、利益相反の管理のための調査、利益相反に関する学外対応及びその他利益相反に係る重要事項	2
ハラスメント防止対策委員会 大学分科会	必要の都度	ハラスメントの防止に係る実態調査・情報収集・啓発・研修の推進、再発防止に係る改善策の検討・実施及びその他ハラスメントに係る重要な事項	1
衛生委員会	毎月1回	職員の健康障害の防止及び健康の保持増進のための基本となるべき対策、労働災害の原因・再発防止対策	12
危機管理委員会	必要の都度	リスク情報の収集・分析、想定されるリスクの洗い出し・評価、リスクへの対応策の検討・立案・実施、危機管理マニュアルの作成・見直し、教職員・学生への教育・訓練の実施、危機対策本部に関する事項	1
防災対策委員会	必要の都度	防災に関する諸規則の制定・改廃、防災設備等の改善・強化、防災上の調査・企画、防災思想の普及・高揚及びその他防災対策に関する事項	-
FD委員会	必要の都度	FDの企画立案、FDの実施、FD活動の評価・結果分析及びフィードバック、FD活動の情報収集・提供、その他FDに関する事項	1
附属クリニック 運営委員会	必要の都度	クリニック、センターの運営の方針・企画及びその他クリニック・センターの業務改善に関する事項	-
附属鍼灸センター 運営委員会			2
附属接骨センター 運営委員会			-
IR委員会	必要の都度	学生の学修動向・教育の成果等に関する情報の収集・分析、学長よりの特命事項に関する情報の収集・分析、その他大学の諸活動に関する情報の収集及び分析	5
動物実験委員会	必要の都度	動物実験計画の指針等及び本規則の適合性、動物実験計画の実施状況及び結果、施設等の管理状況及び実験動物の飼養保管状況、動物実験及び実験動物の適正な取扱い並びに関係法令等に関する教育訓練の内容又は体制、自己点検・評価、動物実験等に関する情報の公開、その他実験動物等の適正な実施のための必要事項	1
コロナ危機 対策本部会議	必要の都度	コロナ感染症に関する対応等について	2

※この他、毎週月曜日に大学事務局にて部課長会議を実施、各部署の業務遂行状況等を確認している。

(日本鍼灸理療専門学校・日本柔道整復専門学校)

専門学校2校合同における運営会議(前、部長主任会議)を以下のとおり計25回実施した。
また、衛生委員会を回覧会議等含め6回実施した。

◆運営会議

開催月	回数	開催日	議題等
令和3年4月	2回	8(木)・20(火)	コロナ感染症対策、学事の確認、説明会開催の検討 指定校選定、成績優秀者への通知検討等
5月	2回	11(火)・25(火)	コロナ感染症対策(緊急事態宣言への対応)、学校HPリニューアル の検討、AT専攻科新カリキュラム移行の確認、学事予定(学園祭) の検討等
6月	2回	10(木)・24(木)	PCR検査の実施、東京有明医療大学における職域接種、緊急事態宣 言下の学事対応(定期試験の実施等)対策等
7月	2回	8(木)・27(火)	東京有明医療大学における職域接種、学校説明会の開催、8月の出 校体制の確認、学内入試の受験資格等検討等
8月	2回	2(火)・30(月)	職域接種の接種状況、A0入試出願状況、説明会開催内容、学事日 程等の確認等
9月	2回	10(金)・21(火)	入学試験関連(A0・社会人入試)、卒業学年における学内試験等(認 定実技・卒業試験など)、学事予定等
10月	2回	5(火)・21(木)	緊急事態宣言解除に伴う感染対策、入試報告、学事予定(謝恩会)の 実施、次年度広報活動等
11月	2回	2(火)・17(水)	次年度広報活動、学事報告、入試報告等
12月	2回	2(木)・22(水)	学事報告、入試報告、次年度の学事予定の検討等
令和4年1月	2回	7(金)・21(金)	コロナ感染症対策(オミクロン)、卒業クラスにおけるリモート授 業の検討・実施、学事予定検討(卒業式等)、入試報告、次年度学事 予定の検討等
2月	2回	3(木)・15(火)	入試報告、コロナ感染症対策、次年度学事予定検討、学事報告等
3月	3回	1(火)・19(土)・29(火)	コロナ感染症対策、国家試験報告、教室の配置検討、次年度各式典 (健康診断の実施内容含む)の検討、学事報告、追加入試等

◆衛生委員会

奇数月に開催	学生並びに教職員のコロナ感染症防止に係る管理体制の確認・検討、ストレスチェックにおける メンタルヘルス対策、労働災害対策、就業規則に係る労働環境の把握(働き方改革等) 他	6回
--------	--	----

◆事務局管理者会議(事務局長・総務部長・総務課長・会計係長)

毎月1回開催 (第2火曜日)	運営会議での決定事項並びに連絡事項等の周知、入試広報に係る学生募集内容の検討、当年度事 業計画の進捗状況の確認並びに次年度以降の計画についての検討、各係における業務の進捗状況 の確認、会計報告(予算含む) 他	12回
-------------------	--	-----

※この他、主担当者会議として、法人本部事務局長を含めたメンバーで月2回程度実施。